

コノハズク

Otus scops Temminck & Schlegel

フクロウ目フクロウ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

ブナ林など発達した森林を代表する小型猛禽類であり、近年減少している。

形態

全長約20cm。全身が褐色で濃い斑が散在している。眼の虹彩は黄色。頭部には小さな羽角がある。体色には灰色と赤褐色の2型がある。

国内分布

九州以北に夏鳥として渡来し、本州では山地の森林、北海道では平地林にも繁殖する。

県内分布

夏鳥として、白山山系など山地帯のブナ林などに渡来し、繁殖する。春秋の渡りの時期には平地や市街地でも観察されることがある。

生態

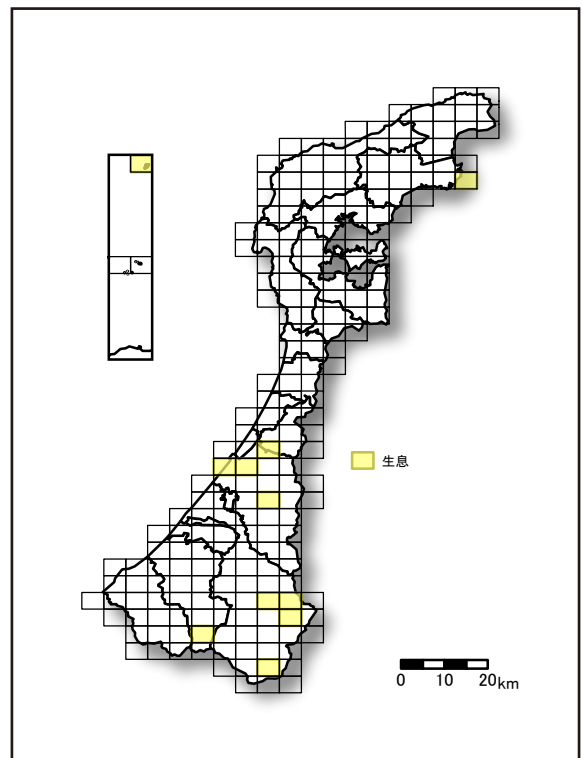
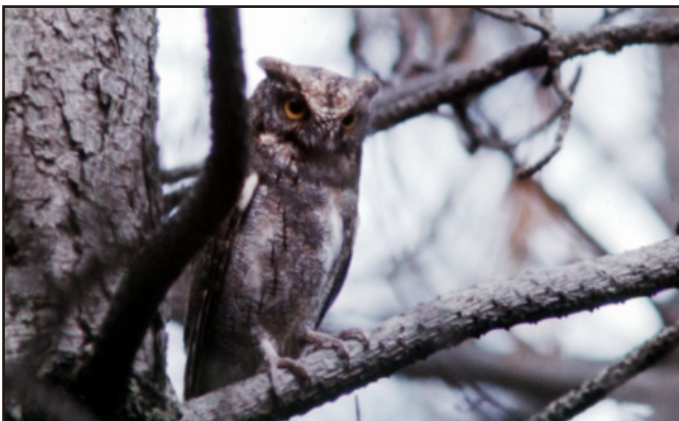
夜行性で昆虫を主食とする。山地の大木の樹洞で繁殖し、5～6月頃に産卵する。抱卵期間は約25日、育雛期間は約21日。

生息地の条件

山地の発達した森林、営巣木となる樹洞のある大木の存在。

生存の危機

山地の森林伐採が心配されるが、詳しい原因はよく分からない。(A, D)



県内の分布